



笑顔あふれるまちづくり

いいぬま雅子

日本共産党品川区議会議員区政報告

NO. 379. 2012. 7. 1.

品川区議会第2回定例会開催 6月21日～7月5日

# 木造住宅の耐震化を急いで！ 耐震診断無料化条例を共産党提案

火災危険ワースト一位のまちを急いで守りたい  
首都直下型地震の被害想定では、区内建物の3棟に1棟が焼失。とにかく火災から守るためにできることは何でもしておかなければなりません。住宅は倒壊すると燃えやすく消火を困難に、また道路をふさぎ避難を困難にします。住宅の耐震化は、地域全体の住民の



阪神淡路震災で倒壊した住宅

命と財産を守る公益性の高い対策です。だからこそ、国や自治体は助成を拡充し促進すべきです。その一つが木造住宅耐震診断の無料化です。私も、今年3月診断を受けました。地震の一撃で窓の多い方向に崩れるわが家の映像を目の当たりにして建て替えを決心しました。（診断費用12万円、区助成6万円が後日振り込まれる）  
自力で困難な人のため、震災対策として、区営住宅建設も求められています。

- 現行制度の活用を
- 耐震補強設計20万円補助
  - 耐震補強工事・建て替え・建物除去に150万円補助（地域など条件あり）

## 日本共産党が提案した 「木造住宅耐震診断助成条例」

（目的）  
木造住宅の耐震診断の自己負担分を原則無料とし、耐震化を促進し、地震による一撃から区民の命を守り、災害に強いまちづくりを進める。

（助成対象建物）  
昭和56年5月31日以前に建築された個人の所有する一戸建・長屋・共同住宅。

（助成内容）  
現在区が行っている耐震診断費用の2分の1助成を改め全額助成とし、区民の自己負担をなくす。

6月21日に始まった第2回定例会区議会は、議員の条例提案権を活用、「木造住宅耐震診断無料条例」を提出しました。残念ながら建設委員会で賛成少数で否決されましたが、木造住宅の耐震化を進めていくためにも、入り口である耐震診断の無料化が有効であることを引き続き求めていきます。



黙っていても、武蔵小山に高さ140mの超高層ビル建設が進む！学習会しました

6月24日、いいぬまは、急激に進む品川区の開発と武蔵小山の140m高層化を可能にする「品川区誘導方針案」の説明をしました。区長は、外国企業を呼び込み、リニア新幹線誘致を働きかけています。震災対策の主なもの、再開発ビル建設と幹線道路計画です。

沢田英次前区議から、品川のこれまでの

開発の問題点と、大崎駅前ゲートシティでの住民運動の成果報告を聞きました。町会をはじめ

め27人の参加者からご意見をいただきました。

「区内が火の海になるのを何とかしたい。年間予算に匹敵する1500億円の税金を使う再開発は許せない税金返せと言いたい」

「人口減の中でこれ以上マンションをつくってどうするのか。再開発ビルに店舗をつくって既存の商店は残れない。駅前前はせいぜい10階がいい」

「震災時の備蓄は大丈夫なのか」の心配に、町会の方から「3日分は自分で用意。学校などの備蓄はまだまだ不十分」と説明がありました。

区が行った調査でも、共産党区議団のアンケート結果でも、「庶民の街がいい」「高層化はいらぬ」が地域の声です。今の街と商店街を安心安全、いつまでも住み続けられる街にするために、低層化、低容積率の勉強もしながら、広く意見を聞き行動します。ご援助求む！ 雅子

### バザーのお礼

6月10日のバザーへのご協力ありがとうございました。雨の予報で1週間延期し、ご迷惑をおかけしましたが、当日は天気に恵まれ、無事終了することができホッとしています。

たくさんの品物をご寄付くださいましたみなさん、お買い物に来てくださったみなさん、快くバザー開催を受けとめて助けてくださったご近隣のみなさんのおかげです。心から感謝の気持ちを伝えます。ありがとうございました。1か月かけて準備し、当日のスタッフは40名、たくさんの力が集まったの成功です。今後も、地域に役立ついいぬま事務所として頑張ってまいります。どうぞよろしく願いいたします。

いいぬま雅子事務所バザー実行委員会

### 大型開発と都市計画道路

—現地見学バスツアーのお知らせ—

7月14日(土)参加費 500円

Aグループ 9時半 大井町駅旧マック前 出発  
Bグループ 12時半 大井町駅旧マック前 出発

コース・・・安藤事務所概要説明・大崎駅西口南口再開発→北品川開発→アジアヘッドクォーター構想→29号線→46号線→武蔵小山駅前再開発

主催 日本共産党品川区議団 (いいぬまはBグループ参加)  
申し込みは区議団控室 5742-6818まで